

南部（２）東香里小学校 適正化方策案の検証評価 （事務局評価案）

方策案	南部 E (春日小と統合)	南部 F (香陽小と統合)
	ア (統合校：春日小)	ア (統合校：香陽小)
特に有効な点		
課題点など	<ul style="list-style-type: none"> ・保有教室が30教室しかなく、増築等が必要（2教室程度）。 ・一部の地区で香陽小の方が近い。 ・現在も同様であるが、一部の地区は、府道を横断して通学しなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保有教室が21教室しかなく、増築等が必要（9教室程度）。 ・最長通学距離が2.1kmとなる地区がある。 ・春日小の方が近い地区が多い。 ・現在も同様であるが、一部の地区は、府道を横断して通学しなければならない。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・両方策とも課題は少ないが、南部E案は不足する教室数が少なく、通学距離の課題がない等の点が有効であると考ええる。 ・東香里小学校は来年度以降に小規模校となる見込みであるが、将来、一旦適正規模となる予測があることから、しばらくの間、児童数等を見定めながら適正化の実施時期を判断することが適切であると考ええる。 	